



まつやま

## 市議会だより



編集・発行／松山市議会

ホームページアドレス <https://www.city.matsuyama.ehime.jp/shigikai>

松山市議会

検索

令和3年9月  
第4回定例会

令和3年度9月補正予算

65億6070万1千円を

原案可決

令和3年第4回定例会を、9月3日から26日間にわたり開催し、9月28日に閉会しました。

9月3・14日には、市長が予算案などの提案説明を行い、9・10日には5人の議員が代表質問を、13・16日には18人の議員が一般質問を行い、提出された議案および市政全般にわたり、活発な議論がなされました。ついで、9月16・17日、21・22日にわた

り6常任委員会を開催し、本会議で付託された議案や請願などについて、審査を行いました。

その結果、議案15件は、いずれも承認、原案可決あるいは同意の議決結果となりました。また、認定2件は継続審査、意見書案2件のうち、1件が原案可決、1件が否決、請願3件については、不採択1件、継続審査2件の議決結果になりました。

令和3年10月  
第5回臨時会

新型コロナウイルス

感染症から地域経済を守るとともに、繁華街の感染対策の強化に、早急に必要となる案件を審議するため、令和3年第5回臨時会を10月6日に開催し、冒頭で市長が予算案などの提案説明をしたのに対し、4人の議員が質疑を行い、議論がなされました。

その結果、補正予算案13億7880万2千円は原案可決の議決結果となりました。

両議会の詳しい内容については「議案等議員別表決結果一覧表」(6・7面)に掲載しています。



浅海地区の満開のコスモス。多くの見物客が訪れ秋の風景を楽しんでいます。コスモス畑は地域で管理されており、浅海地区区長会やまちづくり協議会は、四季を通して花いっぱいのまちづくりに力を入れています。

## 可決された主な議案(9月第4回定例会)

## 予算

本会議の審議を経て原案可決された令和3年度9月補正予算の主な事業は次のとおりです。

●防災ひとづくり地域創生事業(施設版マイ・タイムライン作成モデル事業)

災害発生時に地域での連携を強化するため、消防団や自主防災組織と協働し、社会福祉施設や小中学校、保育園・幼稚園の施設ごとにタイムライン(災害発生時に誰がどのような行動をとるべきか時系列でまとめた防災計画)のモデルを作成する。

●女性消防吏員活躍推進事業

女性消防吏員の採用を促進するため、県内消防本部と連携し、消防・救急活動を仮想体験できる動画や採用促進用の動画を作成するとともに、自衛隊、海上保安部、警察、消防の4機関で合同職業体験を実施する。また、働きやすい職場環境づくりに向けて、ワーキンググループでの意見交換や管理職などを対象とした研修などを実施する。

●感染症対策事業

今後の感染拡大への備えを徹底するため、濃厚接触者へのPCR検査やスクリーニング検査などの実施に必要な費用を追加補正する。

●新型コロナウイルスワクチン接種事業

希望する全ての市民が安心してワクチン接種できる体制を確保するため、時間外・休日での接種費用の加算やワクチンの管理・配送費用など、追加が必要となった経費を補正する。

●道路等補修事業

市内一円的生活道路を対象に、舗装の老朽化や、土留擁壁、路肩、排水施設などの不具合により、歩行者や車両の通行に支障が生じている箇所の補修工事を行う。

●資源化促進事業

資源化物収集運搬及び選別保管業務を委託するため、債務負担行為を設定し、次年度当初からの執行に必要な準備を行う。

●松山フードツーリズム推進事業

本市への誘客を図り、宿泊施設や飲食店などの観光産業の支援と地域経済の活性化につなげるため、「食」をテーマにした魅力ある旅行商品を造成し、販売に向けて準備を進める。

●農業後継者対策事業

農業の担い手を確保・育成するため、県の「担い手総合支援事業」を活用し、就農前から経営発展までの各段階で技術研修や機械・施設の整備などを支援する。

## 意見書

意見書全文は、松山市議会ホームページ「提出された意見書」に掲載しています。

●コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実に求める意見書

9月定例会代表質問



田坂 信一 議員  
(みらい松山)

商店街空き店舗対策支援事業の概要について

**問** 「商店街空き店舗対策支援事業」として中央商店街の空き店舗を活用した出店機会の提供や、出店希望者と店舗所有者とのマッチング支援に向けた環境整備への支援を行うための予算が計上されているが、その概要について伺う。

**答** まちづくり松山が実施する取り組みに対し支援を行うもので、空き店舗を短期間でも活用できるよう店舗所有者と交渉し、チャレンジショップや交流スペースなどへの利用を促し中心市街地の活性化を図る。また、空き店舗情報を集約して提供し、出店希望者と店舗所有者との



大亀 泰彦 議員  
(フロンティアまつやま)

ごみ処理広域化基本構想の協議内容について

**問** 県のごみ処理広域化計画に沿って中予圏域3市3町から成る松山ブロックごみ処理広域化検討協議会を立ち上げ、今年度中にごみ処理広域化基本構想を策定する方向で協議中と理解しているが、基本構想の協議内容について伺う。

**答** 国の手引きでは、処理施設の規模や概算事業費のほか、施設整備のスケジュールなどを検討することとなっている。現在、関係市町のごみの排出量や分別方法などの基礎的な情報を収集し、担当者間で整理や分析などを行いながら協議会で協議するための資料作りを進めている。(松原副市長)

ミスマッチを防ぐとともに、商店街が求めるテナントの誘致などにつなげ、魅力ある商店街づくりに生かす。(梅岡副市長)

施設版マイ・タイムラインについて

**問** マイ・タイムラインとは大雨や台風など事前に発生が予測される災害に対し、自分がとるべき行動を時系列でまとめた避難行動計画のことだが、補正予算案として提出されている施設版マイ・タイムラインとはどのような取り組みなのか伺う。

**答** 高齢者施設や学校、幼稚園や保育所など避難に配慮が必要な施設での逃げ遅れを防ぎ、早期の避難を促すため、国の補助金を活用してモデル施設で作成に着手する。作成の際には、施設だけでなく自主防災組織や消防団、本市職員が一緒になって、地域全体で取り組みたい。(防災・危機管理担当部長)

**(その他の質問事項)**  
新型コロナウイルス感染症対策、ふるさと納税の有効活用、女性消防吏員の現状と活躍推進事業、松山愛郷会 Youth、ため池の防災対策

松山市駅前広場整備にける市長の決意について

**問** 市長は3期目の主要公約として駅前をシームレス化しコンパクトシティのシンボル広場として整備することを掲げ、駅前広場整備事業を積極的に推進しようとしている。市長の駅前広場整備にける決意を伺う。

**答** 「コンパクトシティ」を実現するため「歩いて暮らせるまちづくり」を進めてきたが、こうした地域の宝をさらにいかすため、市内最大の交通結節点である駅前広場を公共交通のシームレス化に加え、コンパクトシティのシンボル広場として整備することを公約に掲げ、早期に実現するため、今年度組織体制を強化した。この整備で、公共交通の利便性を高めるのはもちろん、新しい賑わいや魅力の高まりは中心市街地の活性化につながるので、スピード感をもって進めていく。(市長)

**(その他の質問事項)**  
新型コロナの現状と対策、財政問題、ごみ処理行政



大木 健太郎 議員  
(自由民主党議員団)

健全な財政運営を維持していくための取り組みについて

**問** 今後も社会保障関係経費の増加は避けられず、自然災害への備えも必要だが、市政の重要課題に対応しながら市民サービスを継続し、健全な財政運営を維持していくために、どのように取り組むのか伺う。

**答** 今まで以上に優先事項を見極めた効果的な予算配分に努め、さらにコスト意識を徹底し歳出削減の取り組みを強化するとともに、全庁的な債権管理の推進、ふるさと納税や寄付金の拡充などにより、本市の各種歳入を確保していきたい。(松原副市長)



猪野 由紀久 議員  
(松山創生会)

ワクチン接種の優先順位などコミュニケーションについて

**問** 危機管理上のことも考え、ワクチン接種の優先順位、余ったワクチンが無駄にしないための方策について、新型コロナウイルスワクチン接種の経験を踏まえコミュニケーション化すべきと考えるが、今後どのように対応していくのか、現時点での考えを伺う。

**答** 国が示す順位を基本に、エッセンシャルワーカーと保健所や消防署などの職員に優先的に接種している。また、ワクチンを無駄にしないために接種会場ごとにキャンセル対応用のリストを作成するなどの方策を講じてきた。今後もこれらの経験を踏まえ適切に対応したい。(保健福祉部長)

松山市人材育成・行政経営改革方針について

**問** 「ひと・仕事」組織の一体改革を目指す松山市人材育成・行政経営改革方針について、「コロナ禍による取り組みへの影響を含め、現在進行中の第二次実行計画の進捗状況について伺う。

**答** 「ひと」の改革では、政策立案能力を高める研修や社会人への即任研修の導入、テレワークなど多様な働き方の受け皿づくりを進め、「仕事」の改革では、ICTの導入や、徹底した事務事業の見直しによる財源捻出に努め、「組織」の改革では、坂の上の雲まちづくり部などの創設、下水道事業の統合など将来を見据えた組織整備を行った。一方で市民サービスの向上や市民との協働の促進に関する取り組みでは、市有施設の休館など新型コロナウイルスが影響したこともあり、令和2年度の目標達成は全体の約7割に留まった。(総務部長)

**(その他の質問事項)**  
コロナ禍における職員研修の実施、令和3年度松山市教育委員会点検・評価報告書、防災対策、松山フードツーリズム推進事業、道後温泉事業、農業の担い手の確保と育成

大規模災害発生時の災害廃棄物の仮置き場について

**問** 大規模災害時に仮置き場を迅速に設置するためには、あらかじめ候補地を選定しておくことが重要だと考えるが、本市では現時点で何箇所程度の候補地を選定しているのか。また、実際に仮置き場を設置する場合はどのような流れで設置し、市民へ周知するのか。

**答** 災害廃棄物処理計画の中で仮置き場について定めており、候補地は公有地を中心に200カ所程度選定している。設置する際は、災害の場所や規模などを考慮し必要面積を算出した上で仮置き場を選定し、速やかに設置する。市民への周知は、設置場所や受付開始時期のほか、分別方法や問い合わせ先などを松山防災メールやホームページなどさまざまな広報手段を用いて早急に行いたい。(環境部長)

**(その他の質問事項)**  
東京2020オリンピック・パラリンピックのレガシー、コロナ禍での医療・保健体制、新型コロナウイルスに関する経済対策、新たな基金の創設

一般質問



太田 幸伸 議員  
(公明党議員団)

要配慮者利用施設利用者の避難先確保について

**問** 要配慮者利用施設では、避難先や地域の協力者の確保に苦労している。施設の近隣で協力できる施設がない場合は、小中学校などの公的な避難所を、要配慮者が利用できるような可能な限り整えた上で、避難先として使用できるよう対応すべきである。本市の見解を伺う。

**答** あらかじめ受入体制の整った類似施設などとの連携により避難先を確保することが基本と考えるが、緊急性があり、垂直避難や近隣施設に避難できない場合には、施設利用者を一時的に避難所へ受け入れることもやむを得ず、こうした場合にも対応できるよう避難所の環境改善に努めた。(防災・危機管理担当部長)



河本 英樹 議員  
(みらい松山)

スポーツ少年団などに対する支援策の進捗状況について

**問** 青少年のスポーツ振興を図るため、団体の活動拠点に関わらず、施設使用料の減免を進めていたいただきたい。令和2年3月定例会で支援策について質問したが進捗状況を伺う。

**答** 令和2年度に実施した中核市調査では、夜間照明施設の使用料の減免等の有無はほぼ同数だった。本年6月に施設を使用する団体にアンケートを実施したところ、現状で使用料を減免した場合、施設の利用枠の空き状況によって、減免を受けて活動できる団体と他の有料施設を利用せざるを得ない団体が生じるといった課題も確認できた。今後、管理

日勤救急隊の導入について

**問** 消防の働き方改革として日勤救急隊を導入する自治体が増えている。出動件数が多い日中の救急体制が強化され、子育てや介護を行っている職員が日勤救急隊として勤務できれば、多様な働き方の実現につながる。本市でも女性活躍推進のためにも日勤救急隊を導入してはどうか。

**答** 日勤救急隊はさまざまなメリットがあり、本市でも早い段階から調査研究していたが、新型コロナウイルス感染症を受け、非常時の対応として昨年4月から感染症に限定した日勤救急隊を編成、運用開始し、今年4月からは感染症以外の搬送にも対応するため、出動体制と編成を見直した。今後この状況が落ち着けば、女性の働き方改革としての日勤救急隊の導入についても調査していく。(消防局長)

**(その他の質問事項)**  
本市の財政、新型コロナウイルス感染症対策、児童生徒の自殺対策、ヤングケアラー、改正障害者差別解消法、聴覚障がい者支援、コロナ禍での選挙の管理執行

長期優良住宅に係る住宅用家屋証明を取得する際の必要書類について

**問** 長期優良住宅に係る住宅用家屋証明書を取得する際の必要書類として、本市では「認定長期優良住宅建築等計画に基づく住宅の建築が完了した旨の報告書」いわゆる「完了報告書」の事前提出が必要としている。市民の手間と費用軽減のため、事前提出を不要とすべきと考えるが見解を伺う。

**答** 「完了報告書」の事前提出は、手続き漏れによる不利益の防止、適切な維持保全の一の物件で一般住宅用と長期優良住宅用の2種類の「住宅用家屋証明書」を取得するケースも一部確認できたことから、事前提出の取り扱いについては、市民の負担とならないよう、司法書士会や土地家屋調査士会などの意見を伺いながら検討していきたい。(開発・建築担当部長)

**(その他の質問事項)**  
放課後児童クラブ、民間児童クラブ

一般質問



吉富 健一 議員  
(公明党議員団)

高齢者の移動支援について

**問** 地域包括支援センターの職員が相談支援に当たる中で、高齢者の足の確保、移動支援、特に運転免許証返納後も日常の移動が難なく行えるような支援の必要性を痛切に実感するとき、高齢者が求める恒常的な足の確保、移動支援について本市の考えを伺う。

**答** 高齢化の進展や厳しい財政状況を考慮すると、現時点で交通費助成の実施は難しいが、高齢者を含む市民の生活の足を確保するため、運行の継続が困難なバス路線や公共交通の空白地域での予約制乗り合いタクシーや自家用有償旅客運送など、地域主体のコミュニティ交通の導入を計画段階から支援している。今後も、限られた財源の中で効果的な施策について調査研究していく。(都市整備部長、社会福祉担当部長)



岡田 教人 議員  
(松山創生会)

子ども食堂について

**問** 子どもの居場所づくりとして社会資源を構築する上でも、子ども食堂と行政の関わりは一層求められている。子ども食堂の支援につながる関係機関との調整や広報について伺う。

**答** 子ども食堂の開設・運営に関する相談や、食材提供の申し出があった場合、「えひめ地域こども食堂ネットワーク」やフードバンクにつないだり、保健所の担当部署を案内するなど、関係機関と連携し支援を行っている。また、希望する子ども食堂について市ホームページに掲載したり、運営団体が作成した案内チラシを支援が必要な家庭に届けるなどしている。今後はさらに、広報紙、子育て情報サイトへの掲載や、「土曜塾」で

奨学金返還の支援について

**問** 奨学金返還支援制度は、一定期間定住するなどの条件を満たせば奨学金返還を自治体が肩代わりするもので、昨年の制度改正で自治体の負担も特別交付税措置の拡充により軽減された。若年世代の生活を支え、本市の魅力アップのためにも、本制度を導入すべきではないか。

**答** 本制度は若者の地方への定住などを目的とし、その効果を上げるためには人数や金額、期間など支援の内容を充実させる必要がある。それに伴い財政負担も増すことから、一定数の若者人口を抱える中核市では一部の導入に止まっている。今後、導入自治体の実績を検証するとともに、本市が実施している移住定住の取り組みの効果と比較しながら調査研究していきたい。(坂の上の雲まちづくり部長)

**(その他の質問事項)**  
コロナ禍における本市職員のテレワーク推進、新型コロナウイルス対策、コロナ禍における障がい者福祉、おうちミュージアム

市が管理する公園での火気利用の見直しについて

**問** 中核市のうち約7割の自治体は、市が管理する公園での火気利用を認めるもしくは条件付きで認めている。本市内の公園において火気の利用を条件付きで認めるなど、見直しを検討する考えはないか伺う。

**答** 公園での火気使用の実態や、コロナ禍でのレジャーのあり方を考えると、郊外の公園で、家族とキャンプなどで火気を使用できる環境の整備は必要と認識している。火気の使用には公園利用者の理解に加え、火気利用者のモラルの向上が欠かせないことから、他都市の事例を参考に、近隣住民や公園利用者の意見も伺いながら、利用可能な公園や、期間・時間帯の設定、炭やごみの取り扱いなどの、火気を使用する場合の条件について検討していきたい。(都市整備部長)

**(その他の質問事項)**  
eスポーツの普及、大規模盛土造成地



向田 将央 議員  
(自由民主党議員団)

新型コロナ時短営業による不公平感を軽減させる取り組みについて

**問** 今回のまん延防止等重点措置期間中、本市全ての飲食店への午後8時までの時短営業の要請により関連事業者に影響が出ている。市民の不満を大きくするのは、営業形態や業種あるいはルールを守る事業者とそうでない事業者との間で生じる不公平感ではないか。不公平感を軽減させる取り組みについて考えを伺う。

**答** 事業者のほとんどは、時短要請の趣旨や感染対策の徹底について理解と協力をいただいているところだが、引き続き、ホームページやチラシの配布、店舗の訪問など、あらゆる機会を通して根強く感染拡大防止に向けた周知や啓発を行うことで、事業者間で不公平感が生じないよう取り組みたい。(産業経済部長)



山本 智紀 議員  
(みらい松山)

成人式事業について

**問** 令和4年1月9日開催予定の成人式典について具体的内容を伺う。

**答** 市内29地区それぞれで、公民館関係者や新成人の代表者などで構成する実行委員会の主催で開催する予定で、現在、各地区で実行委員会立ち上げ準備などが進められており、今後各実行委員会、基本的な式典や地域性をいかにした行事内容が検討される。なお今年度は、新型コロナウイルス感染状況を踏まえた開催の在り方についてあらかじめ話し合う場を設け、共通の認識をもって感染症対策の準備を進めていく。(教育委員会事務局長)

プロスポーツチームに対する自治体としての取り組みについて

**問** 城山公園第2期整備基本計画のバブリックコメントに寄せられたとおり、堀之内にサッカースタジアムを建設したいという意見は今でも一番多い。愛媛FCのスタジアムは砥部町近隣にあり移動が難しく市民の関心も生まれにくい状況。子どもや高齢者が行き来しやすい位置にスタジアムがあれば応援する市民が増え、本市の活力を引き出すことにつながる。注目されるようなチームになれば、観光客を招き入れ、経済を活性化させる起爆剤ともなりうる。プロスポーツチームに対する自治体としての取り組みについて考えを伺う。

**答** 地元プロスポーツチームの活性化はスポーツを推進するための基本施策の一つで、活動拠点になるスポーツ施設を確保し戦力を強化するほか、ホームゲームイベントを催し集客を支援している。チームの活躍により活気と魅力に溢れるまちづくりが進められる。引き続きプロスポーツを大切な地域資源の一つとして支えていきたい。(市長)

**(その他の質問事項)**  
市有施設へのWIFI整備

愛ランド里島構想について

**問** 愛ランド里島構想の対象期間は令和3年度までとなっているが、次期構想の策定をどうするのか。また、風早レトロタウン構想もまもなく終期を迎えるが、対応はどのように考えているのか。

**答** 新型コロナウイルスの影響によりさまざまな取り組みが中止や縮小となり、適切な評価ができない状況になっている。取り組みの十分な検証や島民の意見の反映も難しいことから、今年度内の見直しは困難であり、対象期間の延長はやむを得ないと考えている。風早レトロタウン構想についても同様に取り組みに対する振り返りが難しい状況にある。今後、地域の特徴をいかして一体的にまちづくりを進めていくため各構想や個別の地域計画を包括し、市全体の地域振興の方向性を検討したいと考えている。(坂の上の雲まちづくり部長)

**(その他の質問事項)**  
妊娠中の方などの新型コロナウイルス優先接種、子どもの養育費、小中学校タブレット端末、ごみ収集、投票率向上の取り組みと現状



矢野 尚良 議員  
(フロンティアまつやま)

松山フードツーリズム推進事業について

**問** 松山フードツーリズム推進事業の事業者選定における、事業者提案の評価基準についての考えを伺う。また、評価基準、選考委員会の議事録、採点結果、採点の根拠の公表について伺う。

**答** 実行委員会が食の魅力を活かした旅行商品を作成し、企画内容、業務実績、価格などの評価項目を設け、項目ごとに、観光客の満足度向上や消費拡大につながる提案となっているか、類似業務の実績を有しているかなどの評価の視点と配点を設定し、事業者選定を行う評価基準とする予定である。議事録と採点の根拠は、選考委員の率直な審査を妨げるリスクや、提案内容など情報資産の流出につながり事業者



山瀬 忠吉 議員  
(公明党議員団)

WIFI環境の整備について

**問** 避難所にも指定されている学校や公民館で、緊急時の使用を目的としたWIFI環境を整えているところは、何箇所あるのか。

**答** 本市では、市立小中学校79カ所、県立学校10カ所、公民館41カ所の合計130カ所の避難所に、非常時には誰もが接続することが出来るWIFI環境を整えている。(防災・危機管理担当部長)

**地域包括支援センターについて**  
地域包括支援センターを12カ所から13カ所へ増やし、サブセンターも1カ所から2カ所へ増やすようにした背景について伺う。

が不利益を被るおそれがあることから非公表とする予定だが、評価基準と採点結果は、本市の委託業務にかかる規定に準じて公表し、透明性を確保した業者選定を行う。(産業経済部長)

今後のワクチン接種について

**問** 受験生や妊婦の方の優先接種について本市の考えを伺う。また、国のワクチン供給の遅れに対する市長の所感と、今後のスケジュールについて伺う。

**答** 早期の接種を希望する妊婦の方には、集団接種などの早い予約日を案内したり、接種ができる産科での接種予約を調整している。希望される方に一日も早く接種を受けていただくためには、早期のワクチン供給が必要だと考えており、引き続き、国に早期のワクチン供給を希望し、県内での配分調整についても県に要望していく。ワクチン供給が順次、随時予約枠を追加し、接種を希望される全ての方への11月中の接種完了を目指していく。(保健福祉部長)

**(その他の質問事項)**  
商店街等活性化事業、新型コロナウイルス自宅療養者への支援体制、防災・災害対応

**答** 高齢化が急速に進み、介護を必要とする方は年々増加している。また、虐待や認知症など生活課題が複雑で多様化する中、コロナ禍で外出の機会が減るなど、対応が求められる地域の高齢者の現状は厳しさを増しているため、拠点になる地域包括支援センターが、さらに身近なところで地域の課題を広く把握し、関係機関と連携して高齢者を適切に支援する必要がある。そこで、城北では、潮見・久枝と和気・堀江にそれぞれ、れセンターを、桑原・道後には、湯山・五明・伊台を担当するサブセンターを設けたい。これにより、地域の方々にとって、センターがさらに身近で、相談しやすいようになるほか、介護事業所や医療機関なども近くなり、スムーズに連携し、きめ細かな支援ができるかと考えている。(市長)

**(その他の質問事項)**  
新型コロナウイルスに対応する医療従事者及び関係者の精神的負担軽減、太陽光発電、ふるさと納税

一般質問



角田 敏郎 議員  
(自由民主党議員団)

希少動植物の保全について

**問** 希少動植物の保全をテーマに地域の住民や保護団体、学校などの新たなコミュニティが生まれ、協働に発展した事例が市内でも散見される。希少動植物の保全は地域活性化にもつながる可能性をもった課題と考えるが、これまでの取り組みと今後の施策について問う。

**答** これまで、一定規模以上の公共工事では希少動植物に配慮し工夫を見直している。また、絶滅危惧種の生育状況を調査したり、除草作業など環境を保全したりし、情報や対策をまとめ、昨年新しくリーフレットを作成した。今後は、このような資料などをいかに周知啓発と併せて体験学習や観察会など生き物に関心を持つ施策を進め、希少動植物を保全していきたい。(市長)



清水 尚美 議員  
(公明党議員団)

デジタル技能の取得を促し、再就職を支援する取り組みについて

**問** ライフスタイルに合わせて時短で働ける自営型テレワークを推進している市もあるが、本市においてもデジタル技術の習得を支援し、自宅においてテレワークでの就労支援につながる取り組みを考えてはどうか。デジタル技術の習得を促し、再就職を支援する取り組みについて本市の見解を問う。

**答** テレワーク在宅就労促進事業やセミナーの開催、企業とのマッチング支援などで、これまでに延べ700人以上のテレワーカーを育成している。また、愛媛職業能力開発促進センターでは令和2年度からICT科目を設けており、本

基礎疾患のある方の新型コロナウイルスワクチン優先接種について

**問** 障がいのある子どもや保護者や治療によって免疫力が低下しているがん患者などから、本市の優先接種について疑問の声が上がっている。大部分の政令指定都市や中核市が基礎疾患のある方を高齢者に次ぐ優先接種としたが、なぜ本市ではそうしなかったのか。本市の優先接種の順位について考え方を問う。

**答** 国の通知を基に、本市では、予約時の混雑を防ぐために、接種券を段階的に発送し、同時期に発送されるグループ内で基礎疾患を有する方などへの先行予約の機会を設けることで、優先接種を進めてきた。また、高齢者への接種の前倒しやワクチンの供給状況を考慮して、高齢者以外の方への接種方法を検討し、全ての対象者への接種を一日でも早められるよう、年代別に順次案内することとした。(保健福祉部長)

その他の質問事項

商店街空き店舗対策支援事業

市はこうした訓練生へ奨励金を支給し、修了後に正規で雇用した企業に助成金を給付している。今後もテレワークでの就労など、柔軟な働き方を支援したい。(市長)

男女共同参画推進センターの災害時の役割

**問** 本市の男女共同参画推進センターは災害時における役割をどのように想定しているのか。

**答** 男女共同参画推進センターは、普段から女性支援に関わる団体とのつながりがあるため、災害時にそのネットワークをいかして、被災者のニーズや課題の収集、相談窓口の設置のほか、災害対策本部への情報提供など、さまざまな役割が想定される。今後センターと協議を進め、相互に連携できる体制づくりに努めたい(防災・危機管理担当部長)



池田 美恵 議員  
(フロンティアまつやま)

コロナ禍での保育に関する支援について

**問** 第5波により園児や保育士の感染例が相次ぎ、保育現場の負担や不安が増加している。保育現場の意見にこれまでどのような対応をとり、今後はどう対応するのか。

**答** 保育関係者へのワクチン優先接種については、高齢者集団接種の予約枠の空きを活用し、希望者への接種を終えた。また、小集団保育の徹底や、保育士は給食を子どもと一緒に食べないなど、感染リスクを下げない具体的な対策を周知した。感染リスクを下げるために保護者に登園自粛を要請してほしいとの要望には、本市の感染状況を考慮した上で、可能な範囲での登園自粛のお願いをする。今後、事業の新たな実施につなげていきたい。(子ども・子育て担当部長)



岡 雄也 議員  
(自由民主党議員団)

病児・病後児保育事業の現状と今後の展望について

**問** 市全体として年間の必要量は満たしているが、瞬間的な需要にも耐える事業構築が必要だと考える。これまでも要望してきた北部地域への病児・病後児施設の開設も、未だ進んでいない。相手のあることだが、安心して生み育てる環境づくりを進めるためにも病児・病後児保育の拡充が必要であると考えている。今後の事業拡充の方策を問う。

**答** 本市では松山市医師会を通じて、小児科医に制度の周知を行ったほか、直接、市内北部の小児科医に事業を周知するとともに、保健所と連携し、本補助金の申請を考えている小児科医に病児保育事業について丁寧

いをする中で保育士の負担軽減に努めた。今後、さまざまな機会を捉えて現場の声を広く聞き、保育士に寄り添った対応をしていきたい。(子ども・子育て担当部長)

「コロナ禍における広報について

**問** スマートフォンが普及し、市民がスマートフォンで情報入手する場面は多いと想定されるため、専用サイトにも工夫が必要と考えるが所見を伺う。

**答** 現在のスマートフォン向け専用サイトは、本市ホームページと連動し自動で作成されるシステムで、現在のデザインになり10年を迎えるが、画面に情報を集約しきれず見づらい状態になることがある。そこでさらなる利便性向上のため、今年度、スマートフォンでも使いやすく統一性のあるものへとリニューアルを図っている。欲しい情報や重要なお知らせが見やすく、公共性の高いウェブサイトにしてい。(秘書広報部長)

その他の質問事項

平和教育、新型コロナウイルス接種、新型コロナウイルスに対する医療体制、コロナ禍の子ども

寧に説明することで、事業の新たな実施につなげていきたい。(子ども・子育て担当部長)

里親制度の普及促進や新規里親の開拓について

**問** 里親制度の普及促進や新規里親の開拓などにも取り組む必要がある。そもそも里親とはどういった制度か、どういった仕組みでどういった研修が必要なのか。また経済的な支援があることなど知られていないことが多岐にわたっており、まずは周知広報が重要である。里親制度の普及促進や新規里親の開拓などについて、本市の考えを問う。

**答** 本市では、ポスターや広報紙、ホームページなどを活用し里親制度の意義について広くお知らせするとともに、市のイベントなどで里親募集を告知している。今後も、実施主体である県と連携し里親制度の普及促進などに向けた取り組みを検討していく。(子ども・子育て担当部長)

その他の質問事項

避難行動要支援者支援制度、休園に伴う保護者と施設の支援、ファミリー・サポートセンター運営事業ほか



池本 俊英 議員  
(みらい松山)

新型コロナウイルス時短要請などの効果

**問** 飲食店や飲食業を取り巻くさまざまな事業者は、新型コロナウイルス感染拡大により何度も時短要請を受けて、多大なダメージを受けているが、飲食店への時短要請などで感染者は減少したのか。また、その効果と検証を問う。

**答** 県が公表している松山地域の人流入データでは、時短要請以降、人流が大きく減少し、その間の市内陽性者数が着実に減少していることから、効果は十分表れていると認識している。感染対策と社会経済活動の両立を求めている必要があるが、バランスを取り続けていくことは大変難しく、そのバランス



渡部 昭 議員  
(フロンティアまつやま)

森林経営管理法による意向調査結果は

**問** 森林経営管理法の導入により、適切な経営管理が実施されていない森林がある場合、市町村は森林使用者に自ら手入れを行うのか、市町村に経営管理を委託したいのかなどの意向調査を行う。立岩、河野、日浦、坂本地区で調査を実施したと聞けが、調査結果を問う。

**答** 同地区の森林の所有者412人に調査を実施し、259人から回答があった。主な内容は、「市に森林を預けたい」が約4割の104人、「森林組合に経営や管理をお願いしたい」が約3割の85人、「自分で経営や管理をする」は約1割の20人で、何らか

が崩れると感染リスクが高まることから、経済団体などの連携も図りながら、引き続き感染拡大防止に向けた周知や啓発を行っていききたい。(産業経済部長)

豪雨災害からの復旧状況

**問** 西日本豪雨災害からの復旧を進めていた矢先、令和2年7月豪雨が発生し、被災現場が拡大したとも聞けが、西日本豪雨災害及び令和2年7月豪雨災害からの復旧状況を問う。

**答** 西日本豪雨災害で被災した農業用施設や農地865カ所のうち、本年8月末までに約9割の779カ所が完了し、現在28カ所の復旧工事を行っており、昨年の7月豪雨で再度被災した58カ所は、今後工事に着手する。令和2年7月豪雨災害では、残る398カ所のうち、本年8月末までに45カ所が完了し、現在70カ所の復旧工事を行っている。(農林水産担当部長)

その他の質問事項

新型コロナウイルス感染症対策、農業施設を守るための取組方針

の方法で「森林を任せたい」と答えた人が全体の7割を超えている。(市長)

中止事業での捻出額は約3億7千万円

**問** 2020年度の本市の財政は、新型コロナウイルスの影響を受け、通常時にはない運営となったが、一般会計において、中止又は延期となった事業の減額はいくらか。また、新型コロナウイルス対策にいくらか活用したのか。

**答** 昨年度、イベントの中止や延期をはじめ、感染症の影響で実施を見送った事業などを全庁的に洗い出し、不用となった予算を9月と12月の各定例会で減額補正した。その結果捻出できた約3億7千万円の一般財源は、全て本市独自の新生児特別定額給付金や修学旅行の延期で発生したキャンセル料への補助など、新たな感染症対策の財源に活用した。(理財部長)

その他の質問事項

本市の森林の現状、林業への新規の担い手育成、広葉樹 財政調整基金

# 一般質問



土井田 学 議員  
(歩の会)

## 感染状況の情報発信について

問

7月末の県内におけるデルタ株の陽性率はかなりの高率であったと聞いているが、その状況を周知すれば市民への注意喚起となり、その後の感染防止や抑制に役立つのではないかと。一般論として、行政のトップは多くの住民の命、安全に関わる情報は万難を排し、勇気をもって発信すべきと考えるが、市長の見解を伺う。

答

本市では7月中旬以降にデルタ株が確認され、7月29日の会見で、市長と知事がそれぞれ、強く注意喚起している。デルタ株の陽性率は県が検査しており本市では公表していないが、感染力が強く、感染のスピードが速いことなど感染防止のために必要な情報を発信し、繰り返し注意喚起



武田 浩一 議員  
(民社クラブ)

## 歩行者利便増進道路の指定制度の今後の活用

問

「歩行者利便増進道路」の指定制度は、道路占用を柔軟に認め、多様な使い方ができるようにするもので、地域の活性化に大いに貢献していると聞く。本市では国の動きに先駆けて道路整備や、道路空間の再配分と沿道空間を活用した賑わいづくりに取り組んでいるが、これらの既存道路を含め、今後指定制度をどのように活用していくのか。

答

これまで、魅力的な景観を整備し、高い評価をいただいている花園町通りと道後温泉別館飛鳥乃湯泉を含む道後温泉周辺などで、指定制度の活用を検討し、さら

している。今後も市民の命と健康を守るため、情報発信や感染状況に応じた呼びかけなど、適切に対応していく。(保健福祉部長)

## 自衛隊との連携強化について

問

本市は陸上自衛隊と、道路災害における現地合同調整本部の運営などに関する申し合わせや、大規模災害に際して本市消防局と相互協力に関する協定を結んでいるが、「いざ」に備え、もう一歩踏み込んでOB、現役の複数名の自衛官の受け入れや出向など、連携を強化する考えはないか伺う。

答

本市では陸上自衛隊OB1名を採用し、市民への防災講演や、訓練への助言を行うとともに、大規模災害時には自衛隊との連絡調整を担う「災害対策指導監」として防災危機管理課に配置している。現在のところOBや現役の自衛官を増員する考えはないが、総合防災訓練をはじめ、水防立法や図上訓練など、引き続き、災害に備えて自衛隊との連携を強化したい。(防災危機管理担当部長)

## (その他の質問事項)

政治問題、南海トラフ地震



梶原 時義 議員  
(ネットワーク市民の窓)

## 市民の自助努力に頼るだけの新型コロナ対策だけではなく、感染者を寄せないような水際対策を講じるべきではないか

問

松山空港やJR松山駅での水際対策としてのPCR検査、さらには、県外から来た観光客を含め全員の検査を宿泊ホテルで行うことなど、本市に感染者を入れない対策を徹底して行う必要があると思うがどうか。

答

市内感染状況に対しては、感染の早期発見、囲い込み、封じ込め、感染状況に応じた臨機応変な検査が有効であると考えており、それにより感染拡大を抑えてきた。国や他市の動向を注視しつつ、引き続き、感染状況に応じた効果的な検査や対策に取り組んでいきたい。(保健福祉部長)



杉村 千栄 議員  
(日本共産党議員団)

## 学校での新型コロナ感染対策

問

本市の新型コロナの感染不安による登校見合わせの状況とその取り扱い、学びの支援について問う。また、国が小中学校などに配布する抗原検査キットは、本市にはどの程度配分され、どのように活用する予定か。さらに、必要な子どもに不織布マスクを配布してはどうか。

答

9月1日の登校見合わせ状況はほとんどが数人程度で、1人も休んでいない学校も複数あった。国の通知も踏まえ、席扱いにはしておらず、学習プリントやデジタルドリルなども使いながら家庭での学習を支援している。検査キットは2300回分が配分される予定で、出勤後に体調を崩した教職員が速やかに受診できない場合や、小学

私が本会議で追及してきた、本市施設で使う電力自由化追求の成果として、年間約3億3千万もの電費代が安くなっていることについて(全部自由化すれば約5億6千万円になる)

問

私が本市施設で使う電力を四国電力と新電力会社との競争入札にすべきではないかと質問してきた結果、2021年の契約コースで年間約3億3千万円の電費代が安くなっている。残る施設、合計でまだ、さらに億3千万円もの無駄遣いなくすることができ、一刻も早く新電力会社との競争入札体制をとるべきではないか。

答

電力入札については画一的に全施設を対象に行うのではなく、目指すべきは、安価かつ持続可能な競争入札の実現であると考えており、電力入札そのものの手法に加え、個別施設の状況に応じた効果的な経費削減策を講じてきた。その上で、入札不調にならないよう、新電力導入施設選定については、入札募集の都度、先進市の事例や電力市場の動向なども加味する中で、慎重に判断していきたい。(理財部長)

## (その他の質問事項)

新型コロナ感染者に対する医療責任、農地を分筆しただけで前年比3.5倍の課税をしているが撤回すべきではないか

## ごみ処理広域化検討協議会について

問

松山ブロックごみ処理広域化検討協議会は令和3年度末に基本構想を策定する予定だが、この一年の検討状況を問う。また、基本構想に盛り込まれる内容及び、策定に向けた今後のスケジュールを問う。

答

令和2年9月に協議会を立ち上げ検討事項の整理を行い、翌1月には基本構想を策定することと合意した。現在、指導部で情報の整理や分析を行いながら資料作りを進めている。また、基本構想には処理施設の規模や事業費、広域処理までのスケジュールなどを盛り込む予定で、今後は、年内に幹事会を開催し、各首長の考えなどを伺いながら基本構想案を策定し、その後審議会委員や市民の意見を参考に、年度内に基本構想を取りまとめた。(環境部長)

## (その他の質問事項)

新型コロナ無症状者に対する大規模検査、周辺市町のごみ処理の現状、南グリーンセンターの更新



小崎 愛子 議員  
(日本共産党議員団)

## コロナ対策学生支援

問

新型コロナにより学生生活は危機的な状況にあり、不安を抱えている学生が多いように感じるが、「松山市特例奨学金貸付制度」の貸付人数と金額及び学生の実態について問う。また、今後本市独自の臨時奨学金制度を創設する考えはないか。

答

86人に総額7480万円お貸ししており、内訳は110万円が45人、90万円が7人、70万円が13人、50万円が18人、30万円が3人で、申請時の聞き取りなどから「仕送りが減り、学費の納付が困難になった」「アルバイトの時間が減少し収入が減った」など、さまざまな経済的課題を抱えた状況が見られた。昨年6月に日本学生支援機構

## (その他の質問事項)

介護保険制度と地域包括支援センター運営事業

問

「女性のための相談強化等事業」業務委託の事業者はどこに決定し、いつから実施するのか。また、相談体制や問題解決のための専門家との連携について問う。

答

委託事業者は、認定NPO法人の「アクトイノベーション」に決まった。相談体制は、相談員2名で、週3回午後6時から午後10時まで対応し、電話や対面での会話が苦手な方や直接話しにくい内容でも相談しやすいよう、LINEを利用する。10月上旬の開始を目指しており、雇用対策をはじめ、子育てや介護、こころの健康などの専門機関との連携を調整している。(市長)

## コロナ禍での女性支援

## 請願の議決結果

9月定例会で審査された請願は次のとおりです。

- 第27号 「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める請願について【継続審査】
- 第28号 国立病院の機能強化を求める請願について【不採択】
- 第29号 松山市墓地等の経営許可等に関する条例の制定を求める請願について【継続審査】

## 陳情

9月定例会で受理された陳情は次のとおりです。

- 第22号 松山市墓地等財務状況審議会の臨時設置を望む陳情について



| フロンティア<br>まつやま   |             |                  |                  |                  | 松山創生会                 |                  |                  |                  | 無会派              |                  |                  |                  |                  |                  |                  | 議<br>決<br>結<br>果 | 議<br>決<br>日 |       |
|------------------|-------------|------------------|------------------|------------------|-----------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|-------------|-------|
|                  |             |                  |                  |                  |                       |                  |                  |                  | 共産               |                  | 民社               |                  | 社                | 歩                | 子                |                  |             |       |
| 大<br>亀<br>泰<br>彦 | 渡<br>部<br>昭 | 池<br>田<br>美<br>恵 | 矢<br>野<br>尚<br>良 | 檜<br>垣<br>良<br>太 | 猪<br>野<br>由<br>紀<br>久 | 本<br>田<br>精<br>志 | 白<br>石<br>勇<br>二 | 岡<br>田<br>教<br>人 | 小<br>崎<br>愛<br>子 | 杉<br>村<br>千<br>栄 | 上<br>杉<br>昌<br>弘 | 武<br>田<br>浩<br>一 | 梶<br>原<br>時<br>義 | 土<br>井<br>田<br>学 | 田<br>淵<br>紀<br>子 |                  |             |       |
| ○                | ○           | ○                | ○                | ○                | ○                     | ○                | ○                | ○                | ○                | ○                | ○                | ○                | ○                | ○                | ○                | ○                | 継続審査        | 9月28日 |
| ○                | ○           | ○                | ○                | ○                | ○                     | ○                | ○                | ○                | ○                | ○                | ○                | ○                | ○                | ○                | ○                | ○                |             |       |
| ○                | ○           | ○                | ○                | ○                | ○                     | ○                | ○                | ○                | ○                | ○                | ○                | ○                | ○                | ○                | ○                | ○                | 承 認         |       |
| ○                | ○           | ○                | ○                | ○                | ○                     | ○                | ○                | ○                | ○                | ○                | ○                | ○                | ○                | ○                | ○                | ○                |             |       |
| ○                | ○           | ○                | ○                | ○                | ○                     | ○                | ○                | ○                | ○                | ○                | ○                | ○                | ○                | ○                | ○                | ○                | 原案可決        |       |
| ○                | ○           | ○                | ○                | ○                | ○                     | ○                | ○                | ○                | ○                | ○                | ○                | ○                | ○                | ○                | ○                | ○                |             |       |
| ○                | ○           | ○                | ○                | ○                | ○                     | ○                | ○                | ○                | ○                | ○                | ○                | ○                | ○                | ○                | ○                | ○                |             |       |
| ○                | ○           | ○                | ○                | ○                | ○                     | ○                | ○                | ○                | ○                | ○                | ○                | ○                | ○                | ○                | ○                | ○                |             |       |
| ○                | ○           | ○                | ○                | ○                | ○                     | ○                | ○                | ○                | ○                | ○                | ○                | ○                | ○                | ○                | ○                | ○                |             |       |
| ○                | ○           | ○                | ○                | ○                | ○                     | ○                | ○                | ○                | ○                | ○                | ○                | ○                | ○                | ○                | ○                | ○                |             |       |
| ○                | ○           | ○                | ○                | ○                | ○                     | ○                | ○                | ○                | ○                | ○                | ○                | ○                | ○                | ○                | ○                | ○                | 同 意         |       |
| ○                | ○           | ○                | ○                | ○                | ○                     | ○                | ○                | ○                | ○                | ○                | ○                | ○                | ○                | ○                | ○                | ○                |             |       |
| ○                | ○           | ○                | ○                | ○                | ○                     | ○                | ○                | ○                | ○                | ○                | ○                | ○                | ○                | ○                | ○                | ○                | 可 決         |       |
| ○                | ○           | ○                | ○                | ○                | ○                     | ○                | ○                | ○                | ○                | ○                | ○                | ○                | ○                | ○                | ○                | 欠                | 原案可決        |       |
| ○                | ○           | ○                | ○                | ○                | ○                     | ○                | ○                | ○                | ○                | ○                | ○                | ○                | ○                | ○                | ○                | ○                | 同 意         | 9月28日 |
| ○                | ○           | ○                | ○                | ○                | ○                     | ○                | ○                | ○                | ×                | ×                | ○                | ○                | ×                | ×                | ×                | ×                | 継続審査        |       |
| ○                | ○           | ○                | ○                | ○                | ×                     | ×                | ×                | ×                | ○                | ○                | ×                | ×                | ○                | ○                | ○                | ○                | 不 採 択       |       |
| ○                | ○           | ○                | ○                | ○                | ○                     | ○                | ○                | ○                | ×                | ×                | ○                | ○                | ×                | ×                | ×                | ×                | 継続審査        |       |
| ○                | ○           | ○                | ○                | ○                | ×                     | ×                | ×                | ×                | ○                | ○                | ×                | ×                | ○                | ○                | ○                | ○                | 否 決         |       |
| ○                | ○           | ○                | ○                | ○                | ○                     | ○                | ○                | ○                | ×                | ×                | ○                | ○                | ×                | ○                | ×                | ×                | 原案可決        |       |

| フロンティア<br>まつやま   |             |                  | 松山創生会            |                  |                       | 無会派              |                  |                  |                  |                  |                  | 議<br>決<br>結<br>果 | 議<br>決<br>日 |                  |                  |                  |                  |
|------------------|-------------|------------------|------------------|------------------|-----------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|-------------|------------------|------------------|------------------|------------------|
|                  |             |                  |                  |                  |                       | 共産               | 民社               | 社                | 歩                | 子                |                  |                  |             |                  |                  |                  |                  |
| 大<br>亀<br>泰<br>彦 | 渡<br>部<br>昭 | 池<br>田<br>美<br>恵 | 矢<br>野<br>尚<br>良 | 檜<br>垣<br>良<br>太 | 猪<br>野<br>由<br>紀<br>久 | 本<br>田<br>精<br>志 | 白<br>石<br>勇<br>二 | 岡<br>田<br>教<br>人 | 小<br>崎<br>愛<br>子 | 杉<br>村<br>千<br>栄 | 上<br>杉<br>昌<br>弘 |                  |             | 武<br>田<br>浩<br>一 | 梶<br>原<br>時<br>義 | 土<br>井<br>田<br>学 | 田<br>淵<br>紀<br>子 |
| ○                | ○           | ○                | ○                | ○                | ○                     | ○                | ○                | ○                | ○                | ○                | ○                | ○                | ○           | ○                | ○                | 原案可決             | 10月6日            |

可決された議案(10月第5回臨時会)

予 算

本会議の審議を経て原案可決された令和3年度10月補正予算の事業は次のとおりです。

●松山市中小企業等応援金事業

飲食店の営業時間短縮や外出自粛などで影響を受け、売り上げが減少している納入事業者や製造業者、交通事業者などの幅広い事業者に県と市が連携して応援金を給付する。法人には20万円に本市独自の上乗せ分10万円を加えた30万円を、個人事業主には10万円に本市独自の上乗せ分5万円を加えた15万円を給付する。

●繁華街飲食店等感染対策事業【市独自】

「愛媛県社交飲食業生活衛生同業組合松山支部」と感染対策に関する連携・協力協定を締結し、同協定に基づき、繁華街の飲食店などへ抗原検査キットを配布する。また、店内で感染者が確認された場合の対応などのため、経営者や従業員向けの相談窓口を設置するほか、講習会を開催するなど、繁華街の感染対策を強化する。

(その他の質問事項) 繁華街飲食店等感染対策事業

**答** 9月の日本銀行松山支店の県内企業短期経済観測調査では、企業の景況感を示す業況判断指数は、6月の調査から製造業で2ポイント悪化しマイナス7、非製造業では2ポイント改善しマイナス11。12月までの先行きは、製造業で1ポイント改善する一方、非製造業では10ポイント悪化しマイナス21、全産業でもマイナス15と見込まれ、新型コロナウイルスの感染が長期化し、先行きが不透明で、景気の回復が弱めの動きがみられ、体力を消耗している企業への影響を懸念している。雇用状況は、松山圏域の8月の有効求人倍率は1・19倍で、昨年同月比で0・03ポイント、前月比で0・01ポイント上昇しているが、低水準で推移しており予測を許さない状況と考える。(市長)

問

コロナ禍が長期化する中、本市はこれまであらゆる対策を進め、本市経済の維持に努めてきた。このところの経済情勢と雇用状況についての認識を問う。



山本 智紀 議員  
(みらい松山)

経済情勢や  
雇用の状況  
について

10月臨時会質疑

問

松山市中小企業等応援金(第2弾)について、厳しい経営環境を乗り越え、事業を継続する意思がある月次支援金受給者に対しても、市の上乗せ分だけでも給付するべきと考えるが、見解を問う。



岡 雄也 議員  
(自由民主党議員団)

月次支援金の対象事業者にも本市単独の上乗せ分を給付することについて

答

本市ではまん延防止等重点措置が8月、9月にわたり、月次支援金は中小企業者が40万円、個人事業主が20万円の申請額となることから、市単独の上乗せ給付を行う考えはないが、現在、全国知事会が、国に対し月次支援金を拡充するよう緊急提言を提出しているところであり、国の動向を注視していきたい。(産業経済部長)

(その他の質問事項) 補正予算の歳入、繁華街飲食店等感染対策事業

抗原検査キットの配布について

答

これまでを振り返ると、市内で発生したクラスターは、繁華街の飲食店が多くを占め、それらのクラスターを起点に、職場や家庭内へ、そして高齢者施設に感染が広がった事例もあった。次に予測される第6波に備え、先に対策を行うのが重要と考え、繁華街の飲食店などの従業員に絞って、スクリーニング検査を実施するため、キットを配布する。(市長)

(その他の質問事項) 松山市中小企業等応援金事業、繁華街飲食店等感染対策事業

問

第3、第4波の段階で抗原検査キットの配布を始めた自治体もあると聞くが、本市が今の時期に配布する理由を問う。また、配布の対象を繁華街従業員に絞ったのはなぜか。



雲峰 広行 議員  
(公明党議員団)



杉村 千栄 議員  
(日本共産党議員団)

松山市中小企業等応援金事業での  
対象の広がりについて

問

今回の第2弾では、本年6～9月の任意の月売り上げが、前年または前々年同期比で30%以上減少している事業者に加えて、6～9月のうち任意の連続2カ月の売り上げが、前年または前々年同期比で各月とも15%以上減少している事業者を対象としている。(これにより、第1弾と比べてどの程度対象が広がると見込んでいるか。また、申請から給付までの期間の見込みについても問う。

答

対象事業者数は、第1弾の実績数の約1・3倍となる5400件を見込んでいる。期間については、オンライン申請を導入し、申請の効率化を図っており、書類に不備などがない場合は、申請から1週間程度で給付したい。(産業経済部長)

(その他の質問事項) 繁華街飲食店等感染対策事業の概要

議案等議員別表決結果一覧表

松山市議会 令和3年9月定例会

(○：賛成、×：反対、欠：欠席)

| 議案等議員別表決結果一覧表   |                                                    | 議長  | みらい松山 |      |      |     |      |      |      |      | 自由民主党議員団 |      |     |      |      |      |       | 公明党議員団 |       |       |      |      |      |      |      |      |      |
|-----------------|----------------------------------------------------|-----|-------|------|------|-----|------|------|------|------|----------|------|-----|------|------|------|-------|--------|-------|-------|------|------|------|------|------|------|------|
| 松山市議会 令和3年9月定例会 |                                                    | 若江進 | 田坂信一  | 池本俊英 | 寺井克之 | 菅泰晴 | 渡部克彦 | 上田真人 | 河本英樹 | 松波雄大 | 山本智紀     | 清水宣郎 | 原俊司 | 角田敏郎 | 松本博和 | 向田将央 | 大木健太郎 | 岡雄也    | 松本久美子 | 丹生谷利和 | 雲峰広行 | 大塚啓史 | 吉富健一 | 清水尚美 | 長野昌子 | 山瀬忠吉 | 太田幸伸 |
| 議案等             |                                                    | 進   | ○     | ○    | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○        | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    | ○     | ○      | ○     | ○     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 認定 1            | 令和2年度松山市一般・特別会計決算の認定について（継続審査）                     |     | ○     | ○    | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○        | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    | ○     | ○      | ○     | ○     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 認定 2            | 令和2年度松山市公営企業会計剰余金の処分及び決算の認定について（継続審査）              |     | ○     | ○    | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○        | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    | ○     | ○      | ○     | ○     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 承認 7            | 令和3年度松山市一般会計補正予算(第7号) を定める専決処分の承認を求めることについて        |     | ○     | ○    | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○        | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    | ○     | ○      | ○     | ○     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 承認 8            | 令和3年度松山市一般会計補正予算(第8号) を定める専決処分の承認を求めることについて        |     | ○     | ○    | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○        | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    | ○     | ○      | ○     | ○     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 議案 70           | 令和3年度松山市一般会計補正予算（第10号）                             |     | ○     | ○    | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○        | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    | ○     | ○      | ○     | ○     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 議案 71           | 令和3年度松山市競輪事業特別会計補正予算（第1号）                          |     | ○     | ○    | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○        | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    | ○     | ○      | ○     | ○     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 議案 72           | 令和3年度松山市介護保険事業特別会計補正予算（第1号）                        |     | ○     | ○    | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○        | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    | ○     | ○      | ○     | ○     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 議案 73           | 令和3年度松山市道後温泉事業特別会計補正予算（第1号）                        |     | ○     | ○    | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○        | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    | ○     | ○      | ○     | ○     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 議案 74           | 松山市手数料条例の一部改正について                                  |     | ○     | ○    | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○        | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    | ○     | ○      | ○     | ○     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 議案 75           | 松山市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について    |     | ○     | ○    | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○        | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    | ○     | ○      | ○     | ○     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 議案 76           | 松山市公衆浴場法施行条例の一部改正について                              |     | ○     | ○    | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○        | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    | ○     | ○      | ○     | ○     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 議案 77           | 松山市道路の構造の技術的基準等を定める条例の一部改正について                     |     | ○     | ○    | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○        | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    | ○     | ○      | ○     | ○     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 議案 78           | 工事請負契約の締結について（番町公民館改築主体その他工事）                      |     | ○     | ○    | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○        | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    | ○     | ○      | ○     | ○     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 議案 79           | 財産の取得について（高規格救急自動車）                                |     | ○     | ○    | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○        | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    | ○     | ○      | ○     | ○     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 議案 80           | 市道路線の認定について                                        |     | ○     | ○    | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○        | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    | ○     | ○      | ○     | ○     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 議案 81           | 令和3年度松山市一般会計補正予算（第9号）                              |     | ○     | ○    | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○        | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    | ○     | ○      | ○     | ○     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 議案 82           | 人権擁護委員候補者の推薦について                                   |     | ○     | ○    | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○        | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    | ○     | ○      | ○     | ○     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 請願 27           | 「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める請願について（継続審査）      |     | ○     | ○    | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○        | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    | ○     | ○      | ○     | ○     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 請願 28           | 国立病院の機能強化を求める請願について                                |     | ○     | ○    | ×    | ○   | ×    | ○    | ×    | ○    | ×        | ×    | ×   | ×    | ×    | ×    | ×     | ×      | ×     | ×     | ×    | ×    | ×    | ×    | ×    | ×    |      |
| 請願 29           | 松山市墓地等の経営許可等に関する条例の制定を求める請願について（継続審査）              |     | ○     | ○    | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○        | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    | ○     | ○      | ○     | ○     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 意見書 6           | コロナ陽性者の「自宅療養」をやめ、国の公的責任による臨時病院の病床増で入院治療を求める意見書について |     | ○     | ○    | ×    | ○   | ○    | ○    | ○    | ×    | ×        | ×    | ×   | ×    | ×    | ×    | ×     | ×      | ×     | ×     | ×    | ×    | ×    | ×    | ×    | ×    |      |
| 意見書 7           | コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書について              |     | ○     | ○    | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○        | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    | ○     | ○      | ○     | ○     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |

※ 共産：日本共産党議員団 民社：民社クラブ ネット：ネットワーク市民の窓 歩：歩の会 子：子ども未来  
※ 若江進議員は、議長のため表決に加わっていません。  
※ 【議決事件の字句および数字等の整理について】 議案第81号を先議したことに伴い、議案第81号および議案第70号に係る条項、字句、数字その他の整理を議会の議決により議長に委任されたため、議長において、議案第81号を「令和3年度松山市一般会計補正予算(第10号)」から「令和3年度松山市一般会計補正予算(第9号)」に、議案第70号を「令和3年度松山市一般会計補正予算(第9号)」から「令和3年度松山市一般会計補正予算(第10号)」に整理しました。

議案等議員別表決結果一覧表

松山市議会 令和3年10月臨時会

(○：賛成、×：反対、欠：欠席)

| 議案等議員別表決結果一覧表<br>松山市議会 令和3年10月臨時会<br>(○：賛成、×：反対、欠：欠席) |                        | 議長 | みらい松山 |      |      |      |     |      |      |      | 自由民主党議員団 |      |      |     |      |      | 公明党議員団 |       |     |       |       |      |      |      |      |      |      |
|-------------------------------------------------------|------------------------|----|-------|------|------|------|-----|------|------|------|----------|------|------|-----|------|------|--------|-------|-----|-------|-------|------|------|------|------|------|------|
|                                                       |                        |    | 若江進   | 田坂信一 | 池本俊英 | 寺井克之 | 菅泰晴 | 渡部克彦 | 上田真人 | 河本英樹 | 松波雄大     | 山本智紀 | 清水宣郎 | 原俊司 | 角田敏郎 | 松本博和 | 向田将央   | 大木健太郎 | 岡雄也 | 松本久美子 | 丹生谷利和 | 雲峰広行 | 大塚啓史 | 吉富健一 | 清水尚美 | 長野昌子 | 山瀬忠吉 |
| 議案等                                                   |                        | 進  | ○     | ○    | ○    | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    | ○        | ○    | ○    | ○   | ○    | ○    | ○      | ○     | ○   | ○     | ○     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 議案 83                                                 | 令和3年度松山市一般会計補正予算(第11号) | —  | ○     | ○    | ○    | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    | ○        | ○    | ○    | ○   | ○    | ○    | ○      | ○     | ○   | ○     | ○     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |

※ 共産：日本共産党議員団 民社：民社クラブ ネット：ネットワーク市民の窓 歩：歩の会 子：子ども未来  
※ 若江進議員は、議長のため表決に加わっていません。

◆選任された方々

《9月第4回定例会》

■人権擁護委員候補者

佐伯美智子  
川上泉  
射場和子

討論

請願第28号「国立病院の機能強化を求める請願について」採択に賛成

大亀 泰彦 議員(フロンティアまつやま)

市立病院を持たない本市にとって、コロナ禍の経験からも公的機能を有する医療機関の重要性を改めて認識した。今、最優先で取り組むべき課題は医療資源の充実であり、医療現場の厳しい現状を踏まえ、市民の安全と安心を守るといふ思いを再度国に伝えるためにも請願の採択に賛成する。

請願第28号「国立病院の機能強化を求める請願について」採択に賛成

小崎 愛子 議員(日本共産党議員団)

国に対し、国立病院機構をはじめ、地域の医療崩壊を防ぎ、国民の命を守るための危機管理の機能強化、新興・再興感染症の拡大や大規模災害などの緊急事態に備えた万全の医療体制を強く求め、請願の採択に賛成する。

意見書案第6号「コロナ陽性者の「自宅療養」をやめ、国の公的責任による臨時病院の病床増で入院治療を求める意見書について」賛成

田淵 紀子 議員(子ども未来)

医療従事者の確保も必要不可欠であることから、地方自治体の努力だけで補いきれるものではない。国の公的責任において病床数を増やし、速やかに入院治療が行える医療体制の確立を求め、意見書の提出に賛成する。

意見書案第7号「コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書について」反対

杉村 千栄 議員(日本共産党議員団)

すでに第6波が想定されているように、コロナ禍が今年度中に解消されることが見通せていない現状で、市民への負担復活を当然視する内容のものであり、意見書として提出するには時期尚早であることから、意見書の提出に反対する。

● 9月定例会で委員会に付託された議案などについて審査を行いました。  
主な質疑内容は次のとおりです。

● 総務理財委員会  
歳入について  
財政調整基金の残高及び年度内に活用できる額  
防災ひとづくり地域創生事業について  
防災計画「タイムライン」のモデルはどのようなモデルを考えているか  
多種多様な社会福祉施設にはそれぞれに対してモデルが作られるのか

● 文教消防委員会  
女性消防吏員活躍推進事業について  
職員の女性比率を上げる目標の達成  
女性の応募枠と年間応募者数  
女性活躍に関するワーキンググループで出た意見とその活用  
学校給食運搬業務委託について  
運搬業務を分離して委託している理由  
業者の選定方法及び不適正な単価を提示した業者への対応

● 市民福祉委員会  
障害者支援施設等整備補助事業について  
スプリングクラー未整備の施設数及び今後の整備計画  
補助事業の周知啓発

● 環境企業委員会  
埋立ごみ収集運搬委託及び資源化物収集運搬及び選別保管委託について  
資源化物収集運搬及び選別保管委託の限度額の増額理由  
ごみの収集量の推移  
古紙回収ボックスを常設する考えはないか  
紙類の持ち去り行為に対する対策

● 都市整備委員会  
道路等補修事業及び交通安全施設(二種)整備について  
市道の水路に危険防止のためガードパイプを設置する場合、水路の管理者とどのように同意を取っているのか  
市道管理の包括的民間委託  
松山市道路の構造の技術的基準等を定める条例の一部改正について  
特例区域の占用期間  
道路占用許可を受けた者が負担する料金は市の収入になるのか

● 産業経済委員会  
農業後継者対策事業について  
支援の期間  
認定農業者の年齢制限及びどうすれば認定されるのか  
直近3年間での新規就農者数及び離農者数とその理由  
松山フードツーリズム推進事業について  
本事業が目指すもの及び旅行商品の具体的な内容  
予算の使途及びスケジュール

● 新型コロナウイルスワクチン接種事業について  
受験生を対象とした優先接種及び集団接種会場の設置  
12歳以上の方の接種完了時期  
夜間接種の実施

● 女性消防吏員活躍推進事業について  
職員の女性比率を上げる目標の達成  
女性の応募枠と年間応募者数  
女性活躍に関するワーキンググループで出た意見とその活用  
学校給食運搬業務委託について  
運搬業務を分離して委託している理由  
業者の選定方法及び不適正な単価を提示した業者への対応

● 市民福祉委員会  
障害者支援施設等整備補助事業について  
スプリングクラー未整備の施設数及び今後の整備計画  
補助事業の周知啓発

● 環境企業委員会  
埋立ごみ収集運搬委託及び資源化物収集運搬及び選別保管委託について  
資源化物収集運搬及び選別保管委託の限度額の増額理由  
ごみの収集量の推移  
古紙回収ボックスを常設する考えはないか  
紙類の持ち去り行為に対する対策

● 都市整備委員会  
道路等補修事業及び交通安全施設(二種)整備について  
市道の水路に危険防止のためガードパイプを設置する場合、水路の管理者とどのように同意を取っているのか  
市道管理の包括的民間委託  
松山市道路の構造の技術的基準等を定める条例の一部改正について  
特例区域の占用期間  
道路占用許可を受けた者が負担する料金は市の収入になるのか

● 産業経済委員会  
農業後継者対策事業について  
支援の期間  
認定農業者の年齢制限及びどうすれば認定されるのか  
直近3年間での新規就農者数及び離農者数とその理由  
松山フードツーリズム推進事業について  
本事業が目指すもの及び旅行商品の具体的な内容  
予算の使途及びスケジュール

● 新型コロナウイルスワクチン接種事業について  
受験生を対象とした優先接種及び集団接種会場の設置  
12歳以上の方の接種完了時期  
夜間接種の実施

● 女性消防吏員活躍推進事業について  
職員の女性比率を上げる目標の達成  
女性の応募枠と年間応募者数  
女性活躍に関するワーキンググループで出た意見とその活用  
学校給食運搬業務委託について  
運搬業務を分離して委託している理由  
業者の選定方法及び不適正な単価を提示した業者への対応

● 市民福祉委員会  
障害者支援施設等整備補助事業について  
スプリングクラー未整備の施設数及び今後の整備計画  
補助事業の周知啓発

議長会  
情報

10月12日(火)  
愛媛県市議会議長会  
秋季定期総会(松山市)

愛媛県市議会議長会  
会秋季定期総会において、関係当局への  
要望事項が満場一致  
で決議されました。

要望事項

▶子ども医療費助成制度の創設  
▶肱川流域の治水対策の促進  
▶保育所などでの紙おむつ処分費用について  
など計8項目の早期実現

令和3年度  
愛媛県市議会議長会 秋季定期総会

令和3年第6回(12月)  
定例会の開催日程(予定)

第6回(12月)定例会は、11月26日(金)から12月16日(木)まで開催される予定です。  
正式な日程は、11月19日(金)開催予定の議会運営委員会で決定します。  
なお、12月8日(水)は休会日ですが、一般質問日となることもあります。

11月26日(金) 本会議(開会、提案説明)  
12月 2日(木) 本会議(一般質問)  
12月 3日(金) 本会議(一般質問)  
12月 6日(月) 本会議(一般質問)  
12月 7日(火) 本会議(一般質問、委員会付託)  
12月 9日(木) 委員会(産業経済)(都市整備)  
12月10日(金) 委員会(市民福祉)(環境企業)  
12月13日(月) 委員会(文教消防)(総務理財)  
12月16日(木) 本会議(表決、閉会)

質問議員名は、議会ホームページ「令和3年12月定例会の日程」欄に掲載します。

令和3年度 議会報告会を  
オンラインで開催しました

松山市議会  
Matsuyama City Council

公開場所  
松山市議会動画チャンネル  
「ようこそ市議会へ」(YouTube)  
<https://www.youtube.com/channel/UCeMXHgbo40KgCCesX66BOoA>

QRコード

配信内容

議会報告  
松山市議会  
Matsuyama City Council  
新型コロナウイルス感染症  
に関する取り組み  
「新型コロナウイルス  
感染症に関する取り組み」  
(約15分)  
・議長あいさつ  
・市民福祉委員会正副委員長による報告  
・産業経済委員会正副委員長による報告

女性に関する諸問題への取り組み  
松山市議会  
Matsuyama City Council  
「女性に関する諸問題への取り組み」  
(約10分)  
・議長あいさつ  
・女性議員7名による報告